

第6回S I C F グランプリ作品発表展覧会

塩保朋子「はじまりから見つめること」

2005 年 10 月 28 日（金）～31 日（月）ショウケース（スパイラル1 F）

主催：株式会社ワコールアートセンター

緻密な切り絵に浮かび上がる原初の風景

スパイラルでは、第6回S I C F（※）のグランプリ受賞者塩保朋子の作品発表展覧会「はじまりから見つめること」を、2005 年 10 月 28 日（金）～31 日（月）までスパイラル1 F ショウケースで開催致します。

塩保朋子がS I C Fに出品したのは「acorn（どんぐり）」と題する、巨大な紙に施された緻密な切り絵です。（写真一番下）植物の実が成長し、やがて幹となり枝葉を伸ばしていくイメージを、紙というシンプルな素材とカッターを用いた緻密な手作業により、力強く、繊細に表現しました。離れた場所からは一見目立たないモノクロのスクリーンに見えます。しかし作品に近づいてみると、大きな紙一面が細密に切り出された、緊張感あふれる作品本来の姿が現われます。会場では執念とさえ感じさせる切り絵の迫力が多くの来場者を引き付けました。そしてその際立つ作業量と集中力が見事に作品の美と完成度へと集積される独創性と、紙を切り取るという行為により平面作品が彫刻作品へと変貌するユニークさなどが審査員の高い評価を獲得しました。

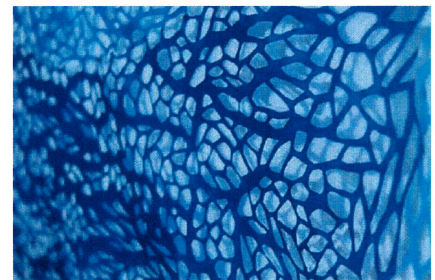
今回出品する新作「はじまりから見つめること」

これはモノクロの紙で表現した「acorn」とは対照的に、鮮やかな色彩の透明なカラーフィルムに施された縦 3m×横 4.25m の切り絵が自然光溢れるショウケースいっぱいに広がる巨大な作品です。

「海の中で細胞が分裂し、増殖していく様子とともに、木が成長して葉脈を伸ばし、やがて枯れていく姿を表現します。生のはじまりと営み。私たちはどこから来たのかを振り返り、現在、欠けているものを再確認する。そこから新たにはじまる何かを感じて欲しい」と塩保は語ります。

第6回S I C F グランプリ作品発表展覧会 塩保朋子「はじまりから見つめること」はS I C F 受賞作品がさらにバージョンアップした内容となる、新進クリエイター塩保朋子の注目の初個展です。

この機会に貴誌でのご掲載をご検討いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



写真上 「はじまりから見つめること」(部分)
写真下 同、寄り写真



第6回S I C F 出展作品「acorn」(部分)
220 cm×175cmの巨大な切り絵

※S I C F（スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）

美術、デザイン、音楽や映像、建築など多岐にわたるクリエイターとその才能を求める来場者とのプレゼンテーションの場としてスパイラルが主催するイベントです。毎年ゴールデンウィークにスパイラルホールで開催しています。

作品に寄せられたコメント

浅井隆（アップリンク主宰）

遠くで見て、網膜を通して脳にチカチカと刺激が起き、
近くで見て、ズームアップされた手作業の痕跡を発見し、
また離れてみると、頭に気持ちのよいモアレが起きた。

イチハラヒロコ（アーティスト）

手作業の仕事量に満足していないところがいい。表情の美しさにそれがでている。
「コンセプト」「アイデア」といった作画的な言葉をせせら笑う、なんとも言えない凄みがある。

佐藤尊彦（INTERNATIONAL GALLERY BEAMS 兼 B GALLERY プランナー）

彼女の作品には、プリミティヴな命の力強さが宿っている。
農耕民族として、太古の自然の中で暮らし、その脅威を体で知っている。
彼女は、何かを必死に願うように、一心不乱に刃を入れる。
豊作？水乞い？
彼女は偉大なる自然に何を見たのか？
彼女の遺伝子の記憶は、現代に何を提示するのか？
僕達は、どのように立ち会えば良いのだろう？
無意識の坩堝に眠る記憶を、振り絞り、蘇らせろ。

南條史生（森美術館副館長）

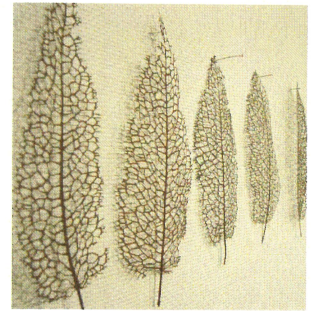
繊細さとダイナミズムが同居している。
単調さと複雑さが同居している。
このように両極の特徴をそなえていることで、
彼女の作品は、見る人を飽きさせず、まなざしを瞑想的で
多様な思考に誘うことになる。
見たことがあるようでない作品。
それが強さになっている。

【塩保朋子 くしおやす とまこ】

1981 年大阪府生まれ、2004 年京都市立芸術大学美術学部卒業

2003 年 8 月 ART CAMP in caso (大阪海岸通ギャラリーCASO)、2004 年 2 月京都市立芸術大学作品展 (大学内/京都) オリジン賞受賞、2004 年 4 月企画展 (同時代ギャラリー/京都)、2004 年 6 月 incubation04 Invisible Physical Scale (京都芸術センター)、2004 年 10 月「主張てん」(ギャラリーアーティスロン/京都)、2005 年 1 月「京都美術工芸新鋭選抜展 2005 新しい波」(京都文化博物館)、2005 年 9 月「P&E 展」(アートコートギャラリー/大阪)

※本展と同時期にスパイラルガーデンで開催する大アートフェア「take art collection 2005」(10 月 19 日～31 日) にも出展が決定! (写真が出展作品)



「葉—切り取る—」 価格未定
take art collection に出展予定。
木の葉から葉脈を切り出している。

開催概要

- ◆タイトル： 第 6 回 S I C F グランプリ作品発表展覧会
塩保朋子「はじまりから見つめること」
- ◆会期： 2005 年 10 月 28 日 (金) ～31 日 (月)
11:00～20:00 無休
オープニングレセプション 10 月 28 日 (金) 18:00～20:00
- ◆会場： ショウケース
東京都港区南青山 5-6-23 スパイラル 1F
- ◆お問い合わせ： S I C F 事務局 TEL. 03-3498-1171 (スパイラル代表)
S I C F サイト <http://www.spiral.co.jp/sicf/>
- ◆入場料： 無料
- ◆企画制作： スパイラル
- ◆主催： 株式会社ワコールアートセンター

第 7 回 S I C F 開催!

- 会期・会場： 2006 年 5 月 スパイラルホール (予定)
- 公募受付期間： 2005 年 12 月～2006 年 2 月末 (予定)
- 詳細・応募要綱は S I C F サイト (<http://www.spiral.co.jp/sicf/>) にて随時更新していきます。

広報に関するお問い合わせ

スパイラル広報 宮崎佳代/伊藤俊子/渡邊モイチ
TEL. 03-3498-5605 (広報直通) FAX. 03-3498-7848
e-mail アドレス press@spiral.co.jp
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
Spiral Web <http://www.spiral.co.jp/>